

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子 めざす学校像

やさしい子

たくましい子

平成26年1月8日

第11号

『児童一人一人の生きる力と夢を育む南小』

川越市立高階南小学校

明けましておめでとうございます。 ～子どもたちの健やかな成長を願って～

6年後の2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。この数年間、何とも言えない閉塞感に覆われていた日本に一筋の光が差し込んだような気がします。

昨年訪れた東日本大震災の被災地では少しずつ復興が進んでいましたが、私たちは復興に向けた支援を忘れることはできません。

3学期は、勉強や生活のまとめをするとともに、中学校や次の学年への準備をする期間でもあります。卒業式・修了式に向け、これまで学んだことを着実に自分のものとし、自分を成長させていくことが大切です。私たち教師も子どもたちに寄り添い、ともに成長しながら、しっかりと指導してまいります。

本校のスローガンの中に「ありがたい言葉があふれる学校」という言葉があります。冬休みに入る前、子どもたちには、一年を振り返り、自分を支えてくれる家族に感謝の気持ちを込めて「ありがとう」の言葉を伝えるようにとのお話をしました。感謝の気持ちに包まれて育つ子どもたちは、必ずや人に優しく、温かな気持ちを持って成長してってくれるものと確信しております。

世界中からたくさんの人々を迎える2020年の夏、日本はどのように変わっているのでしょうか。子どもたちはどのように成長しているのでしょうか。6年後、何と6年生は18歳を迎え、1年生は中学生となっています。

新しい年の始まりをよりよい未来への期待と共に迎えることのできる幸せを噛みしめております。子どもたちの夢を育み、充実した3学期、そして、素晴らしい一年を送ることができるよう教職員一同全力を尽くしてまいりたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、今年もご支援の程どうかよろしくお願い申し上げます。

箱根駅伝 東洋大学駅伝部の爽やかな風

毎年恒例の箱根駅伝。お正月の2日3日はテレビから目を離すことができませんでした。過酷なレースの中、たくさんのドラマが見られました。今年も、地元川越市に練習の本拠地を置く東洋大学が圧倒的な強さで優勝を飾りました。若い酒井俊幸監督の凛とした佇まいがチームの謙虚な姿勢と自信にあふれた走りに現れているような気がしました。

「強い駒澤大学がいたからこそ、私もチームも強くなることができました。」

優勝インタビューでの酒井監督の言葉です。相手を讃えながら、そのライバル心を自分たちのエネルギーに代える。いつの時代にも、成長の陰にはよきライバルがいるものです。

進級・進学までの3か月。子どもたちが、よき仲間、よきライバルたちと切磋琢磨しながら健やかに成長してくれることを願ってやみません。

学習指導要領 平成28年度に全面改定

新聞によりますと、文部科学省は、小・中・高等学校で教える内容や授業時間を定めている学習指導要領を平成28年度に全面改定する方針を固めたとのことです。「外国語活動」の開始時期が小学校3年生となり、5・6年生では教科に格上げされます。「道徳」が教科となり、中学校では日本語を使わずに英語の授業が実施されるようです。本校では現在5・6年生がアメリカ出身のALTとともに英語活動を実施し、道徳の学校研究も2年目を迎えました。今後も、教育界の動向を見据えながら、着実な教育活動を実施してまいります。

